

ユニシス研究会 2018年度 研究活動 テーマ候補 《中部支部》

募集番号	キーワード	テーマ タイトル例(案)	活動内容 (案)
1	認証	認証技術(管理)の未来	IPカメラの高性能化ならびにAI分析技術を組合わせた防犯やマーケティング分野でビジネスモデルが開発されたり、これら最新の画像認識技術が注目されている。高度化・多様化する認証技術の中で、企業において他社に後れを取らないセキュリティを確立したいことはいまでもない。該テーマにおいては認証技術(管理)の面で費用対効果、これからの技術の進歩を鑑み、利用シーンから新たなビジネスモデルの検討や、どういった技術が有効か、利用検証する。
2	システム運用・保守	システム保守における既存資産の可視化	企業の業務システムは長期に渡って利用されるが、ソースコードの肥大化、ソースコードとドキュメントの乖離、情報の属人化など、さまざまな原因から情報が劣化し保守が困難化することは免れない。対策としては、既存の資産を見える化して現状の把握を容易にすることが考えられる。本活動では、どのような情報を見える化することで、困難となっている保守作業を改善できるのか、また自動化を含む実現手段について研究する。
3	データの利活用	企業内・外に存在するデータを組み合わせ、新ビジネスについて考える	IoT技術の発展に伴い、様々な情報が採取できるようになってきている。そこで、既存の企業内データ、オープンデータや新たに収集できるデータを組み合わせることで、新ビジネスの創出や社会課題の解決などを検討する。
4	RPA (Robotic ProcessAutomation)	RPA(Robotic Process Automation)の活用によるIT部門での効率化と運用に関して	最近、RPA(Robotic Process Automation)を活用して業務の効率化・自動化への取り組みが増えてきている。これは主にプログラミング経験の少ない業務部門スタッフが業務の効率化および自動化を進めるために活用されているケースである。ご自分の会社等で活用事例とがあれば是非ともご紹介いただき度。このRPAの活用事例を研究することによって、IT部門でのあらたな活用分野を見出したり、システムの更なる安全/安定の為の運用改善(自動化)・効率化を進めるための可能性を研究する。
5	働き方改革	働き方改革へのITの果たす役割	国の人口減少が進む中で、「働き方改革」は早期実現が必要な重要課題である。これまでもITは仕事の生産性向上に大きく寄与してきたが、働き方の質を大きく変えることは少ない。働く場所や時間、コミュニケーション方法、デバイスなどの変化に対応した改革が必要になっている。以前からシンクライアント、UC、テレプレゼンスなどのソリューションが存在するが、現在はスマートフォンなどのモバイルデバイスを中心においた働き方への見直しが必要である。技術革新が進むモビリティの面からどのように活用シーンが変化し、そこでITがどのような役割を果たすことができるのかについて提言する。